

# RESASを用いた鎌倉市の分析

2025年3月25日  
鎌倉商工会議所

# テーマ

1. 人口
2. 産業構造
3. 小売業・卸売業
4. 製造業
5. 地域経済循環
6. まちづくり・観光

# 1.人口

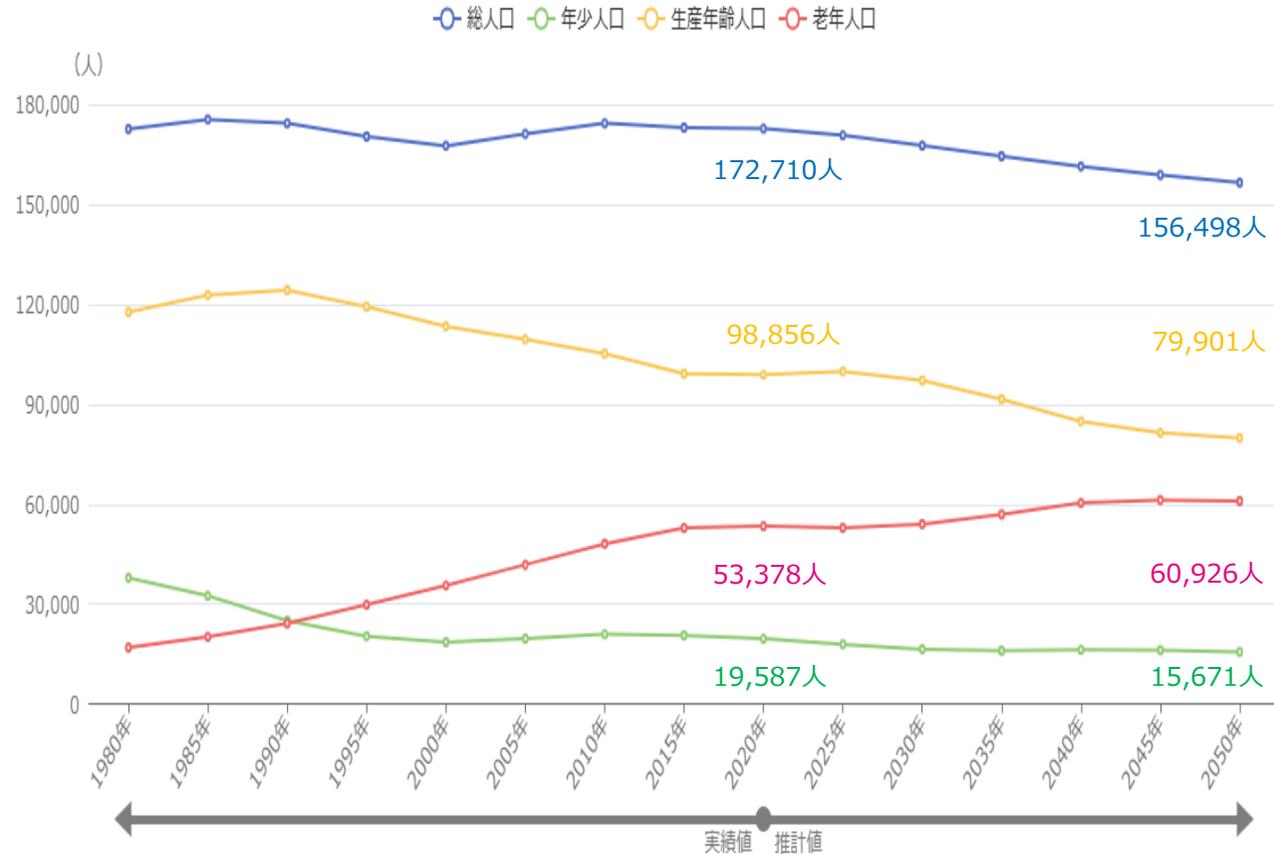
## 年齢別人口推移

2020年の人口は総人口172,710人。  
10年前（2010年）の174,314人と  
比較して僅かに減少している。

今後も人口の減少に伴って  
総人口は減少傾向となる見込みである。  
年代別 に近年の傾向をみると、

- ①年少人口は2000年までは減少を続けていたが以降は横ばいとなっている。
- ②生産年齢人口は 1990 年以降 減少傾向。
- ③老年人口は2050年に総人口の約4割。

総人口に占める老年人口の割合が高くなる  
ことが予想される。



年少人口 …15 歳未満の人口  
生産年齢人口…15 歳以上 65 歳未満の人口  
老年人口 …65 歳以上の人口

# 1.人口

## 人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。

2020年は「逆ひょうたん型」、

2050年は「逆ピラミッド型」に近い。

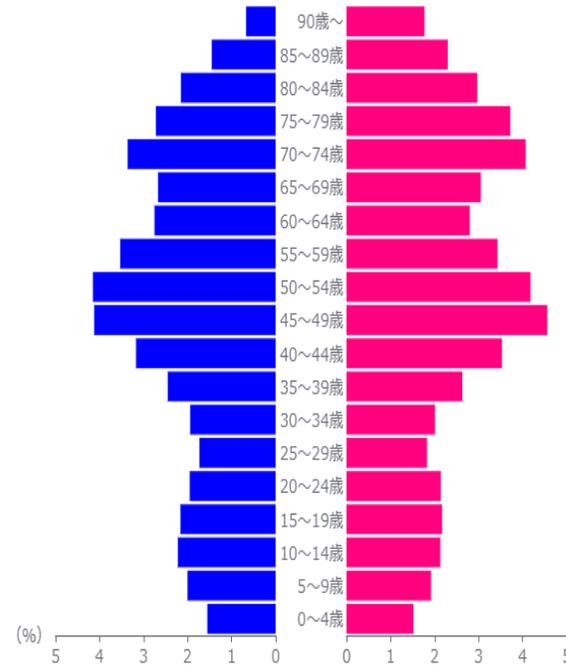
老年人口の割合をみると、

2020年の30%から2050年には39%まで増加する。

一方、生産年齢人口は2020年の57%から2050年には51%まで減少する見込みである。

2020年

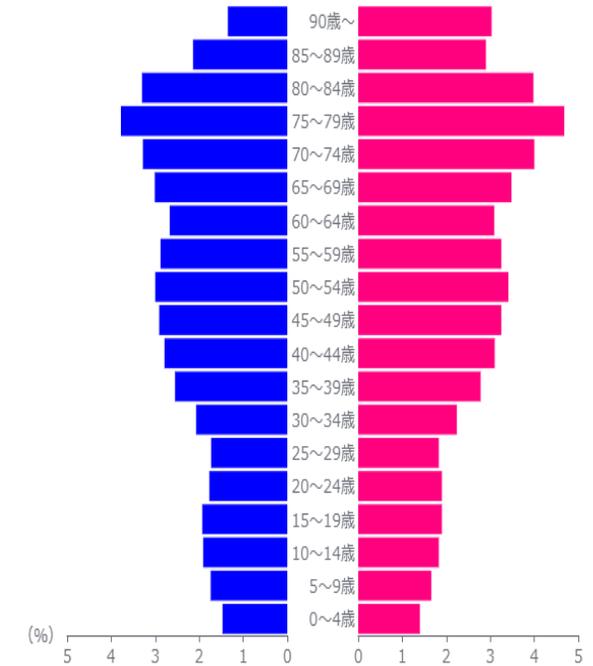
■ 男性 ■ 女性



老年人口 (65歳以上) : 53,378人 (30.91%)  
生産年齢人口 (15歳～64歳) : 98,856人 (57.24%)  
年少人口 (0歳～14歳) : 19,587人 (11.34%)

2050年

■ 男性 ■ 女性



老年人口 (65歳以上) : 60,926人 (38.93%)  
生産年齢人口 (15歳～64歳) : 79,901人 (51.06%)  
年少人口 (0歳～14歳) : 15,671人 (10.01%)

## 2.産業構造

### 事業所数（事業所単位） 大分類

業種ごとの事業所数と割合である。

もっとも多いのは「卸売業、小売業」で  
1,782事業所(全体の25.0%)。

その後、「宿泊業、飲食サービス業」の  
1,163事業所、「医療、福祉」の738事業  
所が続く。

神奈川県鎌倉市

- 卸売業，小売業  
1,782事業所(25.0%)
- 宿泊業，飲食サービス業  
1,163事業所(16.3%)
- 医療，福祉  
738事業所(10.3%)
- 不動産業，物品賃貸業  
715事業所(10.0%)
- 生活関連サービス業，娯楽業  
559事業所(7.8%)
- 学術研究，専門・技術サービス業  
458事業所(6.4%)
- サービス業（他に分類されないもの）  
423事業所(5.9%)
- 建設業  
398事業所(5.6%)
- 教育，学習支援業  
348事業所(4.9%)
- 製造業  
190事業所(2.7%)
- 情報通信業  
167事業所(2.3%)
- 金融業，保険業  
82事業所(1.1%)
- 運輸業，郵便業  
77事業所(1.1%)
- 複合サービス事業  
26事業所(0.4%)
- 農業，林業  
9事業所(0.1%)
- 漁業  
1事業所(0.0%)
- 電気・ガス・熱供給・水道業  
1事業所(0.0%)

## 2.産業構造

### 事業所数の推移

事業所数の推移をみる。

2021年の事業所数は7,137事業所。

9年前の2012年と比較すると

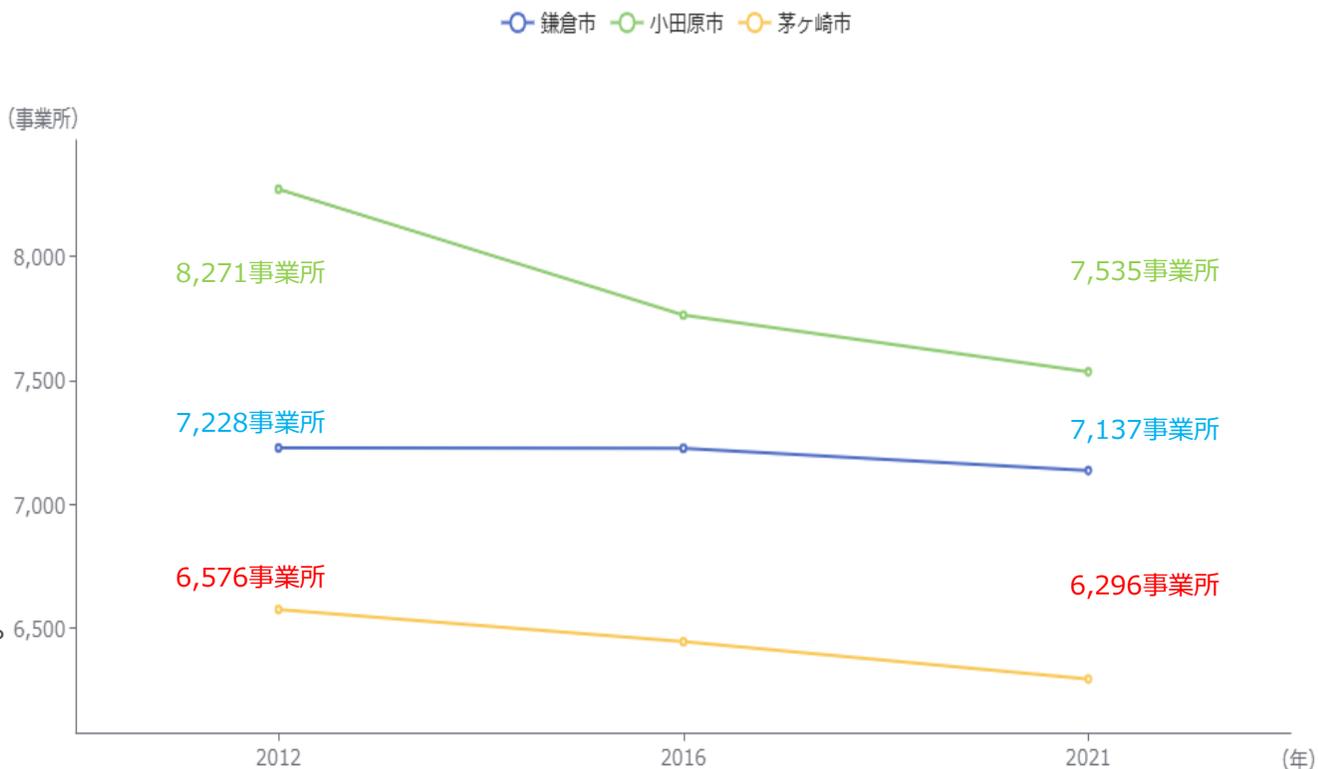
1.3%減である。

他地域をみると、小田原市は8.9%減、

茅ヶ崎市は4.3%減となっており、

また全国平均が5.4%減であるため

鎌倉市は比較的減少幅が小さいと言える。



## 2.産業構造

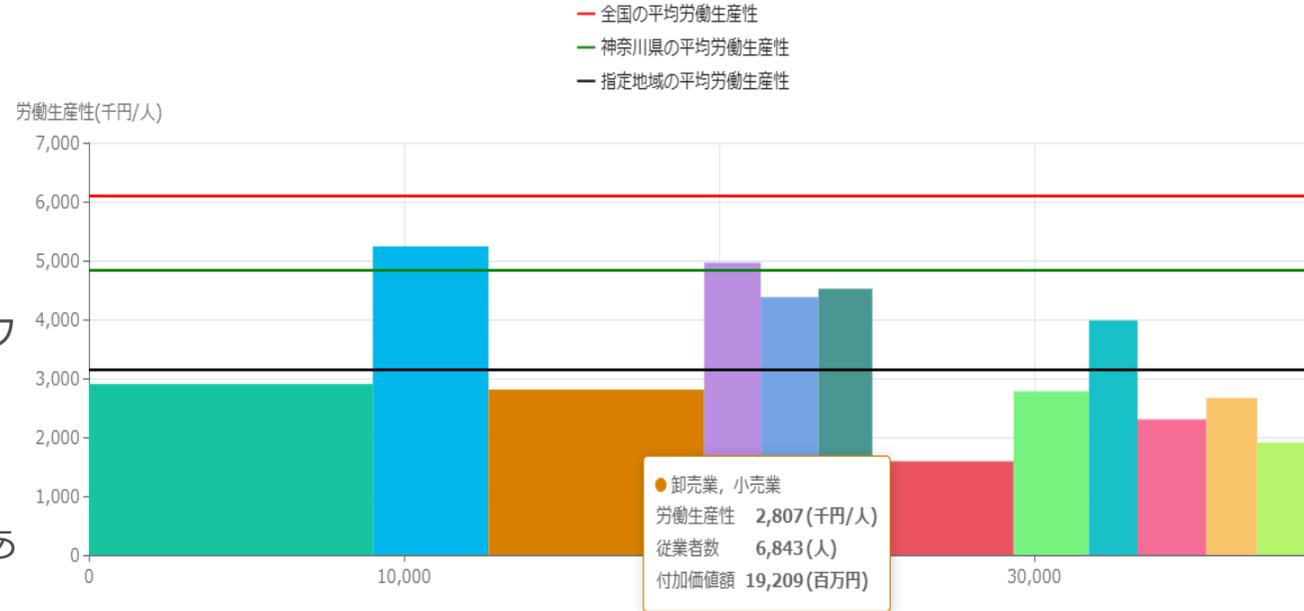
### 従業者数と労働生産性 (2021年)

業種ごとの従業者数と労働を示したグラフである。

生産性がとくに高い業種は「製造業」、  
「学術研究、専門・技術サービス業」であり神奈川県内の平均も上回る。

(ただし、労働生産性は業種による差が大きいのであまり平均に着目すべきではない)

また、従業者数は「医療、福祉」「卸売業、小売業」が多い。



産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)	産業	労働生産性 (千円/人)	従業者数 (人)	付加価値額 (百万円)
● 医療、福祉	2,903	9,013	26,169	● 教育、学習支援業	2,778	2,388	6,634
● 製造業	5,240	3,670	19,231	● 情報通信業	3,982	1,540	6,132
● 卸売業、小売業	2,807	6,843	19,209	● サービス業 (他に分類されないもの)	2,301	2,188	5,034
● 学術研究、専門・技術サービス業	4,963	1,797	8,918	● 運輸業、郵便業	2,665	1,610	4,291
● 不動産業、物品賃貸業	4,377	1,829	8,006	● 生活関連サービス業、娯楽業	1,909	1,534	2,928
● 建設業	4,520	1,709	7,725	● その他	3,290	183	602
● 宿泊業、飲食サービス業	1,590	4,487	7,136				

## 2. 産業構造

### 従業者数の推移

(他地域との比較)

従業者数の推移をみる。

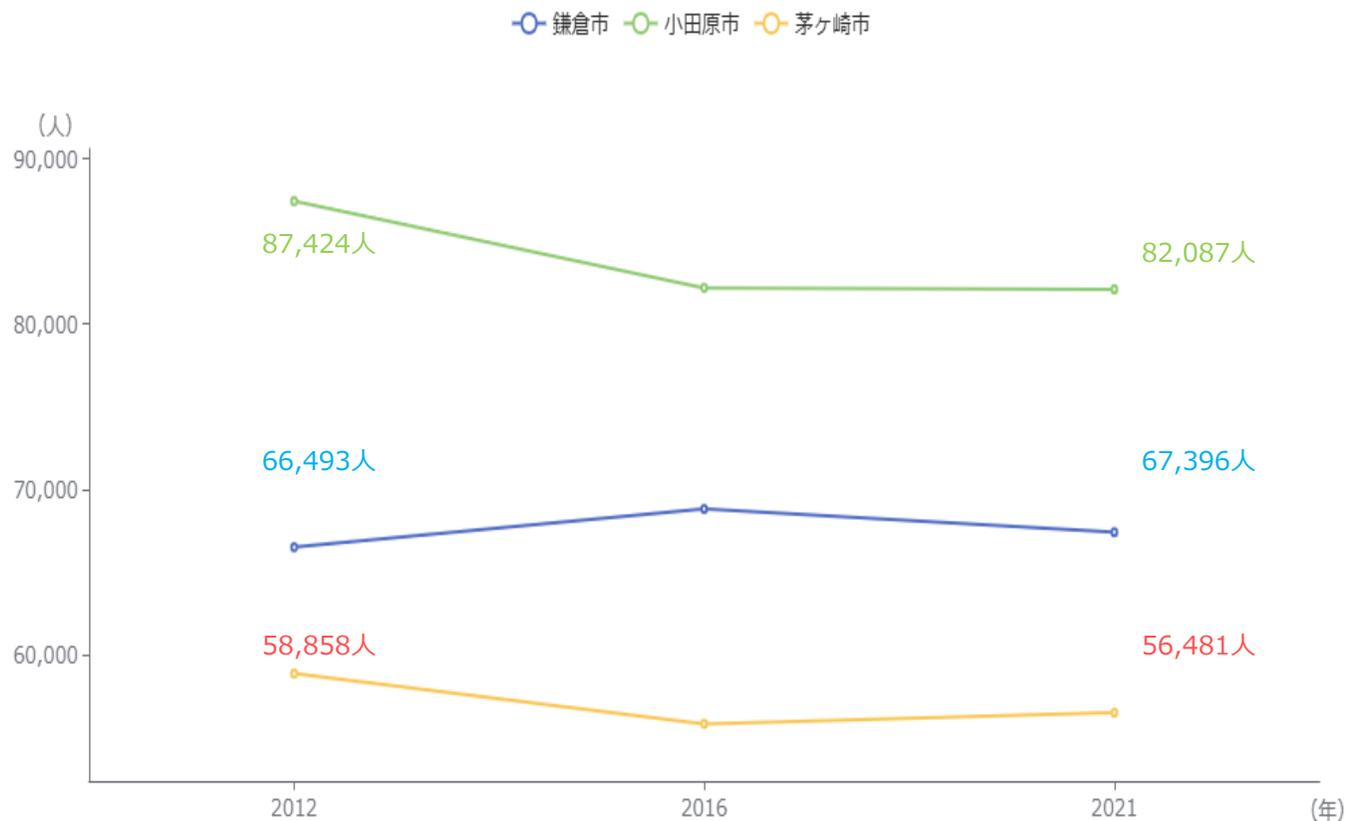
2021年の従業者数は67,396人。

9年前の2012年と比較すると

1.3%増である。

他地域をみると、小田原市は6.1%減、

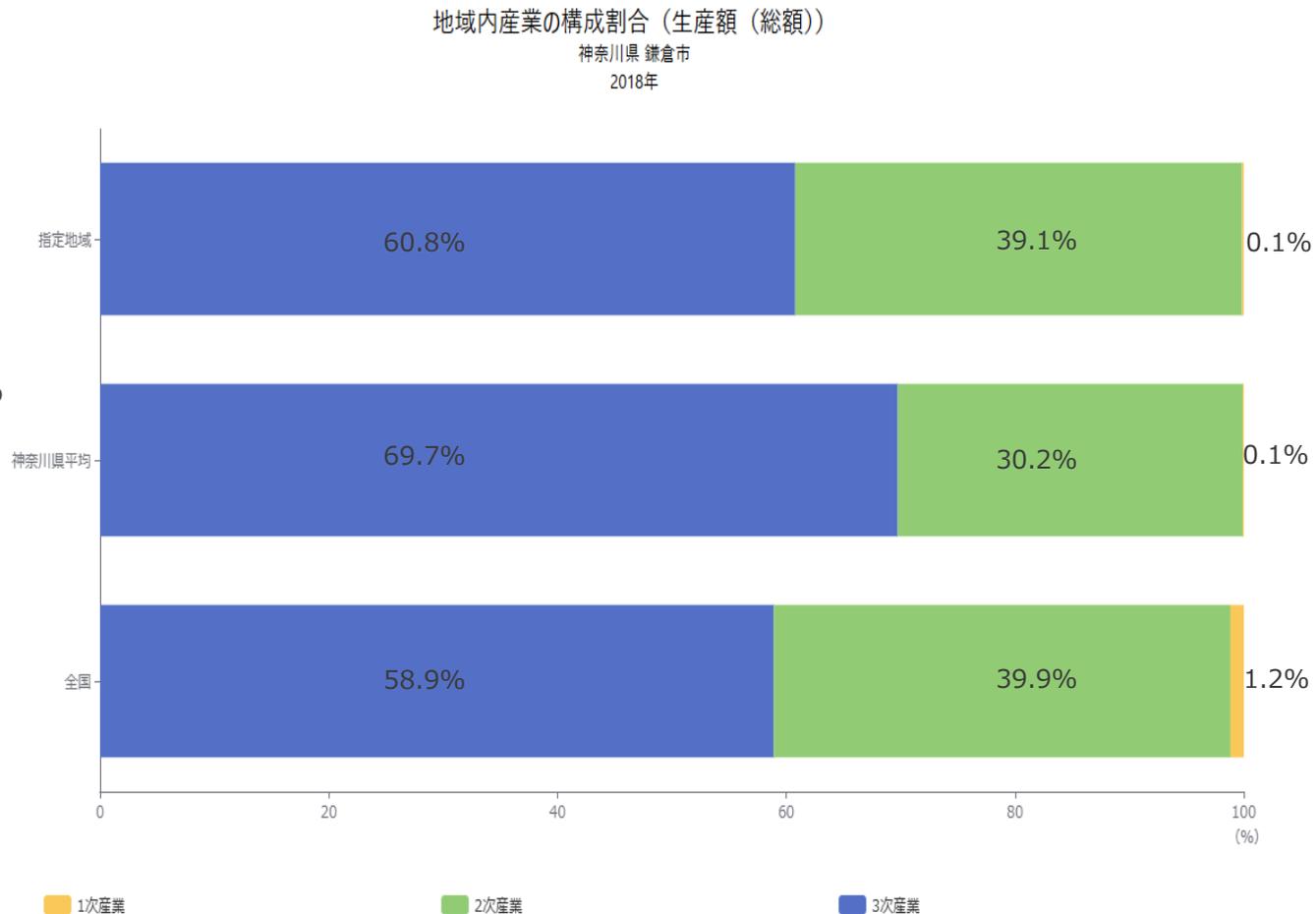
茅ヶ崎市は4.0%減となっている。



## 2.産業構造

### 地域内産業の構成割合

鎌倉市の産業の構成割合を全国および神奈川県と比較したグラフである。鎌倉市はどの産業も全国平均に似ているが、神奈川県平均と比べて、第2次産業の割合が9%ほど高く、第3次産業の割合は9%ほど低い。

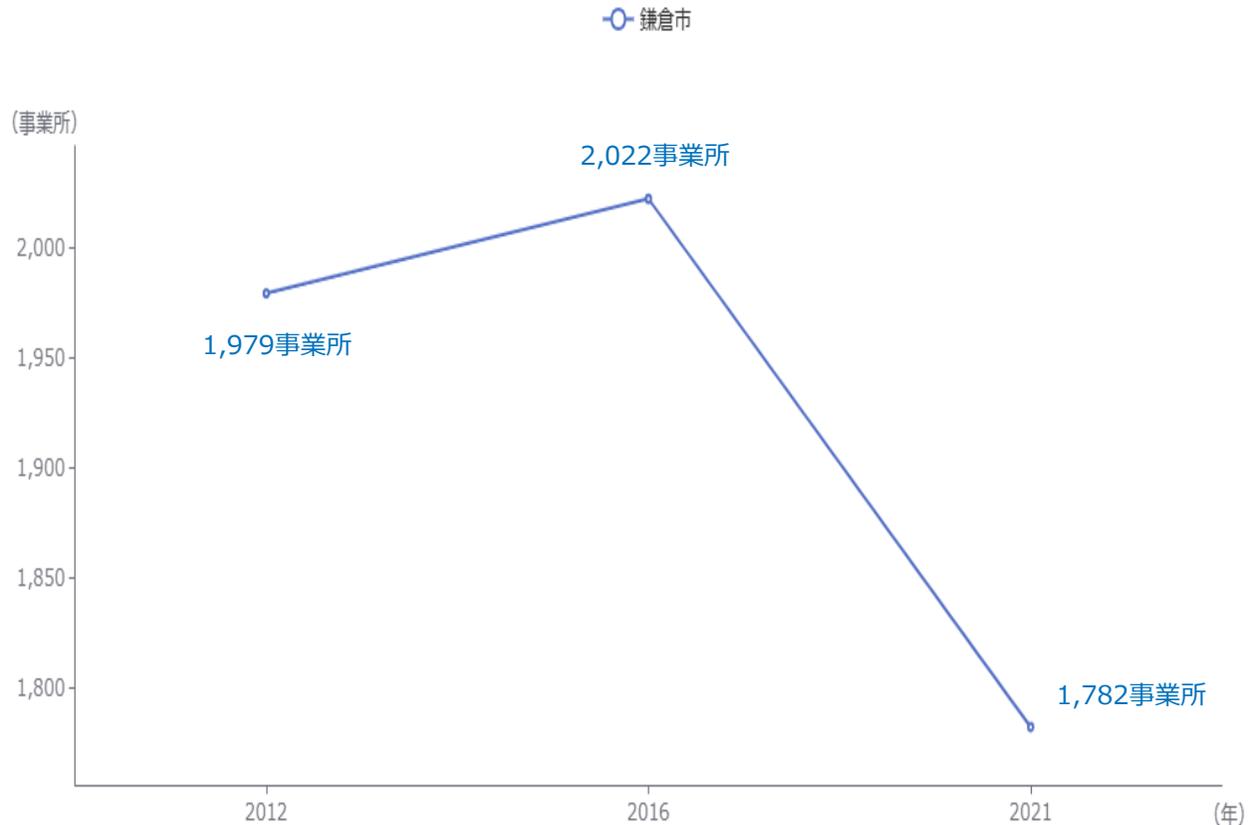


### 3.小売業・卸売業

#### 事業所数の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。

2021年の事業所数は、1,782事業所。  
9年前の2012年と比較すると9,9%減となっている。

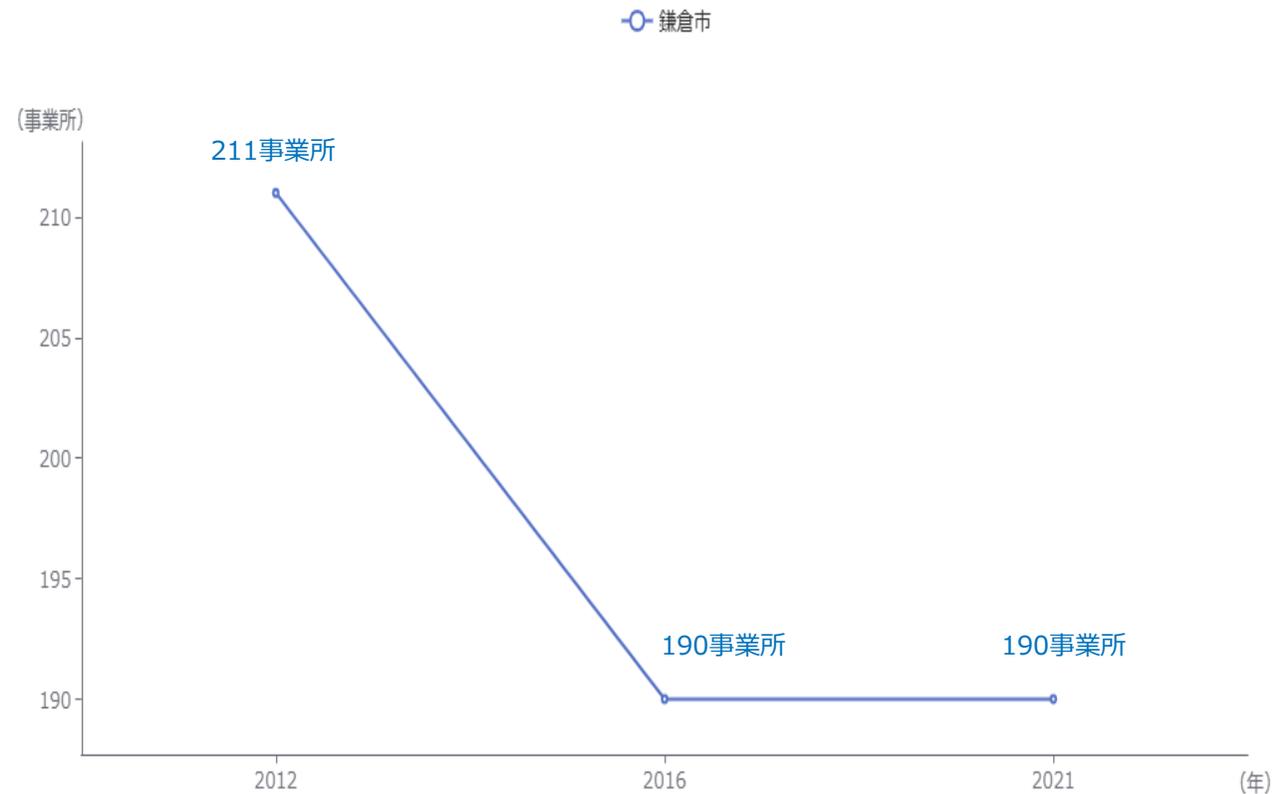


## 4. 製造業

### 事業所数の推移

製造業の事業所数の推移を示した  
グラフである。

2021年は190事業所。9年前の2012年  
は211事業所で9.9%減少している。



# 5.地域経済循環

## 地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。



# 6.まちづくり・観光

## JR鎌倉駅前滞留人口分析 (2024年 6月 休日 14時)

2024年6月の休日14時にJR鎌倉駅前周辺250m内に滞在している人口について表したグラフである。

どの年代においても突出して多い・少ない年代はなく、居住地は7割超が地元の人ではないことがうかがえる。

時間別の推移としては、昼前後に人が多く、鎌倉市旧市街の特徴にもあるように夜は早い時間から人通りが少なくなることもうかがえる。

